

長崎市過疎地域持続的発展計画（素案）（令和3～7年度）
パブリック・コメント一覧

期間：令和4年6月28日～令和4年7月27日

意見提出者 1名

No.	意見の内容	長崎市の考え方
1.	<p>今回、旧三和町の区域が過疎地域としてみなされた。子どもが少なく、高齢者の多い旧三和町は人口が増える要因が少ない。しかし旧三和町は決して古びた町ではない。地域センターを中心に、大きな病院、大きな公園があり、町の景観もとてもよい。さらに福祉に関する施設も充実している。これまで培ってきたもので地域活力の向上ができるのではないかと考える。</p> <p>私は旧三和町の中でも川原周辺に住んでいるので、そこを中心とした町づくりを考えた。</p> <p>一つ目は、川原周辺は第1次産業である農業が盛んである。「びわ」などの果樹類や「キンギョソウ」「トルコギキョウ」などの花き類をハウス栽培等で生産し、同地区内の直売所「みさき駅」をはじめ、全国各地へ販売している。農地については、基盤整備がされた農業団地や比較的平坦でまとまった土地があり、良好な農業生産基盤が確保されている。そこで、空いている農地を整理し、オーナー制の農地にする。オーナー契約を結んだ利用者は、都合のいい時に畑に来て植え付けをしたり、収穫したりして野菜等をつくる楽しさや喜びを味わえるようにする。</p> <p>私は近々、この地域で障がい者のための就労継続支援B型サービスを立ち上げたいと考えている。夫は、この地域で「トルコギキョウ」をハウス栽培によって生産している。その生産の手伝いをB型の障がい者の人たちでやりたいと思っている。さらに発展させて、オーナー制の農地があれば、B型の障がい者の人たちが日頃の作業をしたり、Web やメールなどで生育情報を発信したりできるのではないかなと思う。利用者のタイミングが合わない農作物がある場合は、こちらで収穫して直売所「みさき駅」で販売し、収益を得られるようにする。利用者は、オーナー契約を結べば、農業体験もできるし、現地へ行けなくても収益を得られるというメリットができるということになる。</p> <p>ほかにも、オーナー契約を結んだ農地の近くにリフォームした家を</p>	<p>三和地区（川原地区）における農業（オーナー制農地）を活用した地域活力向上に関する、貴重なご提案をいただきありがとうございます。</p> <p>三和地区周辺の農業、福祉などの現状でございますが、高齢者の就農については、本市の事業として50歳以上の中高年層の就農を支援するための「中高年新規就農者給付金事業」を実施するなどにより、幅広い層の担い手の確保に努めており、また、茂木南部地区において、NPO法人が、びわの放任園を再整備し、オーナーを募り、収穫体験を実施するなど、交流を通じてびわ産地の振興につながるような取組みや、長崎西彼地域雇用労力支援協議会の中で、参加希望のある福祉施設をリスト化し、農業への支援に係るマッチングを進めている状況です。</p> <p>障害者の就労支援については、長崎市第6期障害福祉計画において、就労継続支援のサービスを提供する事業所の確保に努めることを方針に掲げており、就労継続支援B型事業所の整備は、障害者へのサービスがより充実し、障害者の社会参加のさらなる促進につながるものと考えますので、開設等について相談等があった場合は、必要に応じて関係部局とも調整をしながら協議を行ってまいります。</p> <p>有料老人ホームについては、高齢者が入居され、食事、介護、健康管理のいずれかを提供する施設であり、設置については市への届出が義務づけられている民間の施設ですが、旧三和町エリアには現在3施設あり、三和地区においても、設置についての相談等があった場合は、民間の活力と創意工夫により、高齢者の多様なニーズに応えていくことができるよう、適切な協議・助言を行ってまいります。</p> <p>ご提案いただきました、農業（オーナー制農地）を活用した、福祉、移住促進など地域活力向上に関するご提案については、各種施策や取り組みの連携により、相乗効果が見込まれる、大変重要な視点でございますので、今後ともこのような視点を踏まえながら、過疎地域の持続的発展に向け取り組んでまいりたいと考えております。</p>

No.	意見の内容	長崎市の考え方
	<p>用意することができれば、移住する人もいないのではないかとと思われる。</p> <p>課題もある。1度整備された農地ではあるが、放任園となっている箇所も多い。これを整理することは難しいと思う。</p> <p>二つ目は、非常に景観の良い川原地区であるので、住宅型有料老人ホームを作ってはどうかと考える。旧三和町には、三和中央病院や社会福祉協議会三和支所がある。それらと連携して高齢者向けの住宅ができれば、連動して雇用も生まれるのではないかと考える。オーナー制の農地を利用できるようにすれば、それを生きがいとして楽しむ高齢者もいるのではないかと考える。また、その施設の掃除等をB型の障がい者の人たちに作業してもらうようにすれば、互いにメリットとなるのではないかと考える。</p> <p>課題としては、公共の施設としては大きなものになるかもしれないと思われる。</p> <p>これら二つの提案が実現できれば、地域活力の向上となるのではないかと考える。</p>	